

航空業界の人材不足の現状（操縦士）

- 要点**
- ①世界的な航空需要の増大に伴い、国際的に操縦士は2010年から2030年の20年間で2倍以上の数が必要となることが見込まれている。
 - ②アジア/太平洋地域では、2030年に2010年の約4.5倍の操縦士が必要とされ、年間約9,000人の操縦士不足が見込まれる。

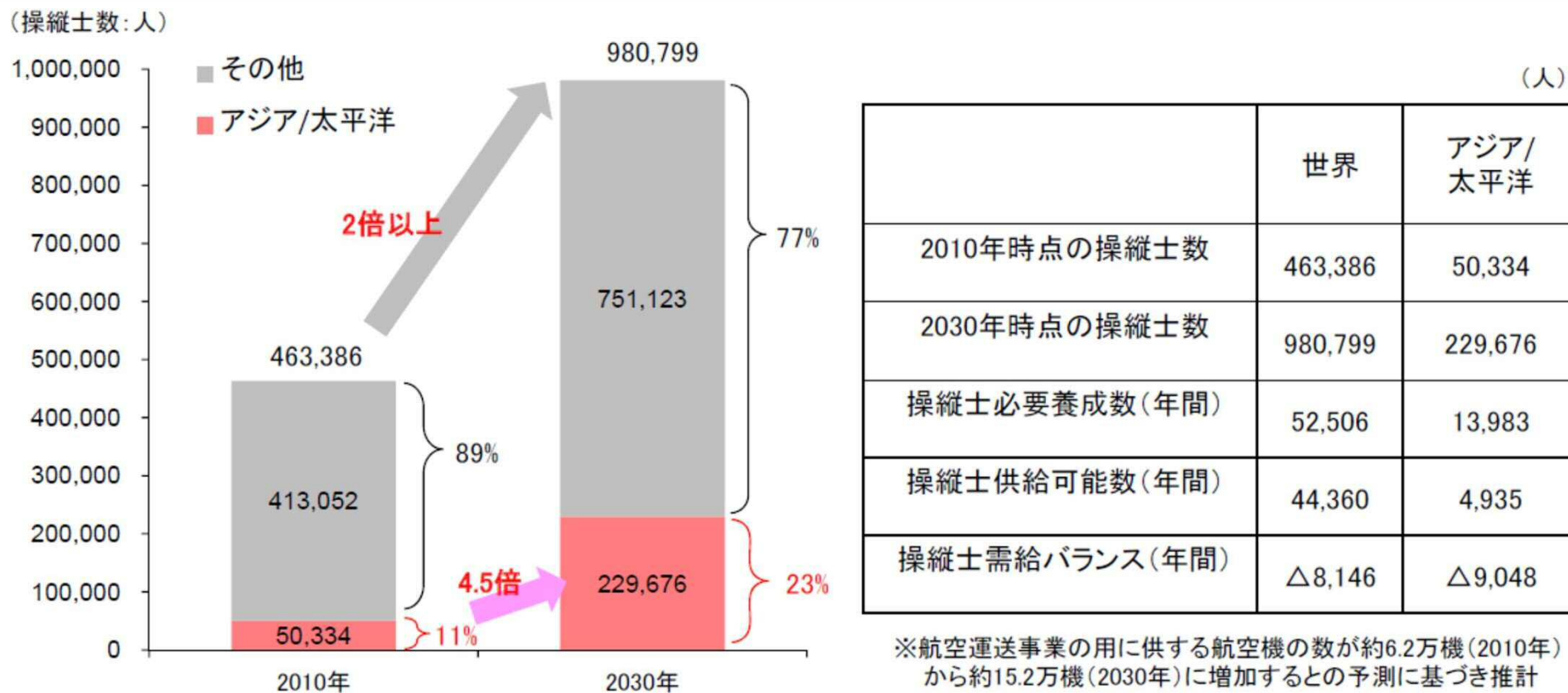
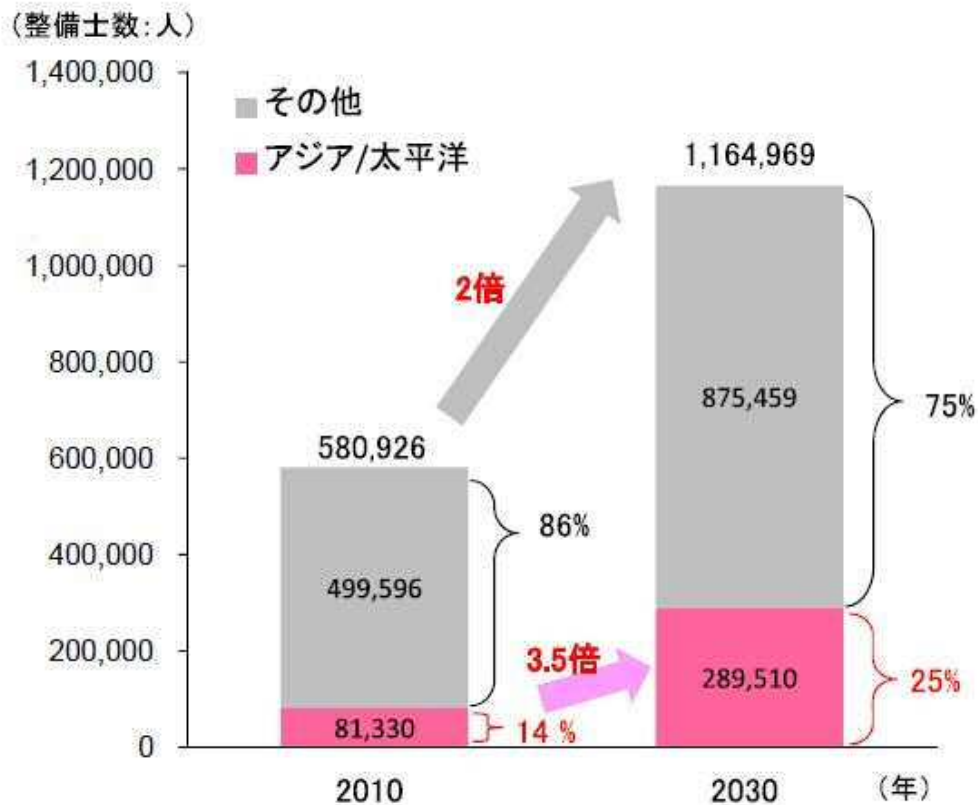


図-2 国際的な操縦士の需要見通し

資料：乗員政策等検討合同小委員会資料（国土交通省ホームページ，2014年6月）

航空業界の人材不足の現状（整備士）

- 要点**
- ① 航空会社の使用航空機数は航空需要の拡大と共に増加しており、使用航空機数の増加にともなって整備士の需要も増大することが見込まれている。
 - ② 国際的に整備士は、2010年から2030年の20年間で約2倍の数が必要となることを見込まれている。
 - ③ 国内では、整備士の高齢化や大量退職時期が予想され、計画的な整備士の確保が求められている。



	(人)	
	世界	アジア/太平洋
2010年時点の整備士数	580,926	81,330
2030年時点の整備士数	1,164,969	289,510
整備士の必要養成数(年間)	70,331	19,010
整備士の供給可能数(年間)	52,260	4,265
整備士需給バランス(年間)	△18,071	△14,745

※航空運送事業の用に供する航空機の数が増加するとの予測に基づき推計
 ※航空運送事業の用に供する航空機の数が増加するとの予測に基づき推計
 ※航空運送事業の用に供する航空機の数が増加するとの予測に基づき推計

図-2 国際的な整備士の需要見通し

資料：乗員政策等検討合同小委員会資料（国土交通省ホームページ，2014年6月）